

沖縄県立美術館にて、ピアノ演奏プログラム 池辺幸恵 2011.3.12

<戦場のピアニスト>

遺作のノクターン	ショパン	魂の叫び 声なき声
革命のエチュード	ショパン	変革 戦争
アリラン変奏曲	池辺幸恵	友好 侵略
幻想即興曲	ショパン	幻想 謀略
エチュード別れの曲	ショパン	訣別 解放
アンダンテスピナートと		希望 新生
華麗なる大ポロネーズ	ショパン	止揚 躍動

声なき声 池辺幸恵

何を叫んでいるの その黒い穴になった口で
何を睨んでいるの その空洞の眼は
何を怒っているの 炭になった拳を天に突き上げ
かれらの声なき声
その叫びを わたしたちは伝えよう
憤りと悲しみと恨みを
愛と祈りと行動にかえて
二度と戦争はおこさない
おこさせないとかたく誓い
平和に向かう世界をめざして
自らが一步踏み出そう

沖縄・日本・アメリカと世界 そして 戦争と平和を考える

一主婦が見聞き読んだことなどを自分に分かりやすくまとめてみました。

<日本に搾取されつづけてきた沖縄>

沖縄は、400年前薩摩藩により侵略されて以来、搾取されつづけてきました。そして明治時代の琉球処分によって琉球王国は潰されました。その時も、本来沖縄は軍備のない島でしたから、明治政府が軍隊を送り込む時にも、いらないとことわったそうですが聞き入れられませんでした。以後島民は大日本帝国という独裁者天皇の支配する軍事国家にくみこまれて大変な目にあ

いました。その恨みと苦しみ、悲しみは、とうてい他から計り知れるものではないでしょう。本土の者としてまことに慚愧にたえません、沖縄のみなさまには心からのお詫びを申し上げます。しかし沖縄はこれからでも、かつての琉球王国の大航海時代・大交易時代の繁栄と平和と独立自存を今いちど取り戻せるならば素晴らしいことです。

<全滅させられるほどの戦場となった沖縄>

沖縄は、第二次世界大戦でも日本の本土防衛の防波堤や盾にされて、アメリカ軍上陸の戦場になり島民の 1/4 が殺されました。沖合のアメリカの艦船からのひきもきらぬ砲撃や上陸したアメリカ軍の戦車や火炎放射器、機関銃によって撃ちつくされ壊しつくされ焼き尽くされた沖縄の地と人々。アメリカ軍は島民を一人残らず全滅させようとするほどの凄まじい爆撃と破壊をしました。しかし戦争が終わってあちこちのガマの奥からつぎつぎに現れてきた島民を見てさぞ驚いたのではないのでしょうか。

<一方的に田畑土地家屋が取り上げられ長い占領の苦しみが続く沖縄>

しかしアメリカ軍は沖縄を占領するとすぐ島民を収容所にいれて、その間に、勝手に田畑や家屋を取り上げ、焼き壊しブルドーザーでならしてアメリカ軍基地や飛行場にしてしまいました。朝鮮戦争の時をもっと基地のために土地が収奪されてゆきました。以来不平等な地位協定等々はアメリカ兵の暴挙を許したままに、今もなお沖縄の人たちを苦しめ続けています。

ようやく日本復帰になってからは却って本土の基地が沖縄にくる結果となり、ただいま日本の 74%もの基地を、狭い沖縄の島が引き受けています。

<基地があることは、アメリカと一緒に戦争をしているということ>

基地があることで、日本は戦争をしていることになるのです。アメリカが世界中でおこしている戦争と一緒にしていることなのです。 [戦争放棄の憲法]を持つ日本なのに、無法にも基地を置いていることで、ずっとアメリカの戦争を支援してきました。そしてイラク戦争では、自衛隊は重火器をもってイラクまで出かけました。人道支援とは名ばかりの自衛隊を外に出したいがための派兵でした。こんな日本はとても法治国家とはいえません。

<またもや軍国主義に向かいつつある日本>

これは日本を今一度軍国主義に向けようとしていることが明らかです。自衛隊も戦前の軍隊をそのままひきずっていますから、兵器を持っているぶん暴力団より始末が悪いかもしれません。しかし憲法 9 条の縛りは強く(頼もしい)結局 1990 年の湾岸戦争で、「血をみせろ、旗をたてろ」などとアメリカに言われても結局自衛隊は出さず、かわりに 1 兆円を差し出しました。

時の橋本総理がアメリカのとあるホテルにてそれを手渡したと聞いてますが、アメリカという強盗団に追い銭(私たちの税金)を大枚差し出しました。でも戦争が終わってサウジアラビアがお札にと世界各国のお世話になった関係諸国のリストの中に日本の名前はありませんでした。あのお金は一体どこに消えたのでしょうか。

< アメリカ軍に、こんなに抜きん出て買いでいる国は日本だけ >

アメリカ軍への電気・ガス・水道などのインフラやレジャー施設等の諸経費等々を賄っている思いやり予算だけでも、ここ 10 年前は年間 2700 億円、ここ 2 年ほどは 2000 億円を切っていますが、それにしてもこのいたれりつくせりましてアメリカ軍にいてもらっているのは何故なのでしょう。

< 日本は、いまだにアメリカ軍に占領されたままです >

アメリカ軍がいて、それもこちらが大変なお金を出してまで居てもらって日本になんの良い事があるのでしょうか?! 思いやり予算だけでなく日本でのアメリカ軍基地の維持経費も年間 6000 億円以上も日本が出しています。これが辺野古の新基地やオスプレイなどの設置となると、駐留費は 1 兆 5 千億円を越えるだろうといわれます。そんな日本での駐留に一銭も出していない居候のアメリカ軍なのに、とても威張って治外法権でいたい放題をしています。沖縄の人々は毎度泣き寝入りです。つまり日本は戦後 66 年にして未だにアメリカ軍に占領されている状態なのです。これで独立国といえるのでしょうか。

< アメリカは日本との約束を守ろうともしない >

アメリカ軍の海兵隊は日本を守ってくれる、と鳩山元首相はそう言って普天間基地撤去の国民との約束を破りました。しかし先に破ったのはアメリカです。1996 年の SACO 合意では、2001 年には真っ先に普天間を返還し、残る 10 ヶ所の基地を返すという約束でした。しかしアメリカ軍はその 10 ヶ所の替わりの基地を県内に作ると後で言い出し、結局老朽化している現在の基地を新築しようという自分勝手なとりきめを主張しました。結局アメリカ軍は沖縄にまだまだ新しい基地、それもこれまでにない陸海空軍の一大基地を辺野古に作ってずっと居座るつもりなのです。その建設費もすべて日本に出させるのですから日本はすっかり占領国なのです。

< 海兵隊は侵略戦争の最初の突撃殺人部隊 >

じつは海兵隊とは戦場での先発隊・殴り込み部隊なのです。そして実際には敵の兵士だけでなく一般市民も無差別に殺して回る殺人者集団といえます。このような殺人部隊はたいてい戦場にでかけていて基地にはほとんどいませんから、何かあった時日本人を殺す事はできても日

本を守るために戦ってくれることはありえないでしょう。

<アメリカが核の傘で日本を守ってくれるという幻想>

いざという時、アメリカが日本を守ってくれると、そう信じている方が多いようです。何かおきたらアメリカが日本のかわりに核攻撃をしてくれるという、アメリカの核の傘の下にいるから安心・安全だと、そう思い込んでいる人が大変多いようです。

しかし、ほんとうにゆゆしき事態がおきた時アメリカは日本のために相手国に核ミサイル攻撃をしてくれるでしょうか。

<アメリカは守ると見せてじつは戦争がしたい>

アメリカが、イラクの射程内のイギリスをダシにして、イラクにウソ八百のいちゃもんをつけて勝手に侵略戦争にしゃしゃり出てきたように、アメリカは、いざという場合に(自作自演で起こして)日本を助けるのではなく、自分たちが戦争をしたいから日本を同盟というひもつきにしておいて、いつでも戦争を起こせる口実用に確保しておきたいのだと思います。

<日本は戦争にまきこまれないために自らそのひもを切るべきである>

ひょっとして又、あやしいというだけで、日本の支援という口実で禁じられている核の先制攻撃をはじめられるかもしれません。(イラクの時そうだったように、ただし劣化ウラン弾で・・)

そして、いずれにしろ沖縄の基地から発進するわけですから、報復されるのは沖縄なのです。今、世界は核ミサイルが発射されてしまえばすべてはおしまいです。地球も人類も生物も自然も生命も、生命を損なう見えない放射能で汚染されてしまうのです。

<アメリカは日本を利用はしても決して守ってはくれない>

元自衛隊隊長の孫崎さんも言われています。アメリカは尖閣列島については、我関せずだと声明していると。というのもそこは歴史的にみて琉球か台湾かという、昔は台湾(中国)領とされていたから、琉球が沖縄になってから日本だとして日本の誰かが戸籍登録したそうです。が、アメリカは係争地に関わる気は全くないと声明しているのです。なのに、何かあるとアメリカがかならず助けてくれると・・・いえ、たぶん日本のためには助けてくれないでしょう。

<いくら貢いでも、踏まれ蹴られて、身ぐるみはがされていくだけです>

又アメリカは、竹島は韓国領だと元大統領の子ブッシュがアメリカの国土地理院にそうさせたのに日本は何一つ文句を言わないのです。そしてロシアは北方 4 島にしっかり住み着きさも昔から住んでいたというふうで、日本の元島民の正当性と悲願を一顧だにしないまま国際的に

もらちがあかない。というふうに、外交は各国ともに自国の利益優先で正当性・正義はどこふく風、残念ながらそれが現代の国際間の外交です。アメリカの庇護にあると思込んでいる日本は、利用されているだけなのに、アメリカに異常に卑屈になる様子はまさに占領されている姿そのままです。

<レアアース禁輸でおどしをかける中国>

日本みたいに外国に友愛だと言っても、国際間の外交は丁々発止の駆け引きです。ですから日本の有利なことをしっかりと武器にして、こちらの正当性を認めさせる、それぐらいの駆け引きは最低限でしょう。日本にはそれが言えるいろいろな技術(例えば原油をジェット燃料に精製できるとか)があります。日本も脅しをかけるぐらいでないと、すっかりなめられています。

<アメリカにきちんとも申すべきです>

アメリカのドル増刷によるドル価値下落は、アメリカの日本からの借金(日本の買い込んだ大量のアメリカ国債)を棒引きにしようとするものです。それをされては困るはつきり言えてあたりまえなのに、それが言えないのは独立国として、ましてや同盟国なのにそれが言えないのはなぜでしょうか。

それは、日本の政治家が、いまだにアメリカの核の傘の下という幼稚な幻想に囚われて卑屈になっているからなめられて、いよいよ搾取されているのです。今度の TPP も同様です。アメリカに対してものが言えない状況を自分で勝手に作り出しているのです。アメリカに留学しアメリカに育てられた官僚や議員や学者は日本のためでなくアメリカのために働いているのかもしれない。

<戦争とは、非情なもの>

そして今、グアム・テニアンには日本のお金でアメリカ海兵隊員のための住宅や駐屯地がたくさん作られています。これは、今度又アメリカが戦争を起こしていざ沖縄が危ないとなったらグアム・テニアンに逃げてゆく準備ということです。そこもあぶなくなったら次はハワイに行くでしょう。

<朱に交われれば赤くなる 民主主義の羊の皮を被った狼の軍事国家>

戦争とはそういうものでしょう。この現代で他国に軍事的に戦争をしかけて恥じない海賊アメリカの仲間になっているとそういう痛い目にあわされるでしょう。アメリカは10年に一度戦争をしかけて軍需産業を活性化させないとたちゆかない民主主義の羊の皮を被った狼の軍事国家なのです。アメリカの言うなりになって戦争にかり出されると、結局悲惨な結末が待っています。悪者、無法者と仲良くしていると結局手下になってこきつかわれてあとは切り捨てら

れるのが落ちです。

<沖縄と日本は一体である 放射能もミサイルも日本国中、全土に及ぶ>

今日、世界戦争になれば核ミサイルがとびかう戦争になりますから、どこに逃げても同じともいえます。が、そのように戦争に及ぶとしたらなら、使い捨てられ見捨てられるのは沖縄だけではなく日本全体がアメリカの防波堤となって真っ先に核爆弾で破壊されてしまうでしょう。

日本をつぶすには、核爆弾の2つや3つあれば、日本中全部が破壊され殺され、これから先ずっと住めなくなってしまう。核ミサイルでなくても、日本殺すにゃ核はいらぬ原発銀座(敦賀)にミサイルを落とせ、と日本は壊れた原発の放射能汚染で住めなくなります。自国にたくさんアメリカ軍基地をおき、自衛隊がアメリカ軍と一緒に軍事訓練をしているということは、早晩そういう結果になりかねません。

<核ミサイルの使用により、沖縄が放射能汚染で住めなくなる>

沖縄に核爆弾が落とされると、美しい海も子孫たちも目にみえない放射能に侵されて死に至り、DNDも傷つけられ子々孫々修復不可能なダメージとなり美しい島は死んでしまいます。かつての水爆実験等の南太平洋の島々がいまでもって住めない地のままであることをご存知でしょうか。危険な放射能は半減期までも何万年もかかります。

このまま基地を許しているということは、沖縄が早晩、住めないままの危険な南太平洋の島々と同じようになるということです。当初の広島・長崎どころではない、現在の核の威力はその何万倍も強力になっており、核兵器が世界中に何十万発とあるのですから、これからは世界的な戦争は起こしてはならないのです。

<戦争に向かい桁違いの軍事費を費やすのは、死の商人たちの思う壺>

ですから戦争が起きないようにと、桁違いの軍事費を費やしていくことは、かえって各国の軍拡競争をひきおこします。でも今戦争がおきれば核戦争ですからもう逃れる術はありません。戦争に向かう事や戦争に備えようとする事の無駄遣いは、双方から利益を得ようとしている[死の商人たち]を喜ばせ彼らの思う壺にはまっているのです。戦争をすることは、彼ら死の商人たちの手玉にとられて彼らを肥やすばかりだということです。

<死の商人たちに貢ぐのをやめましょう>

戦争になると、いつも国家の軍隊の犠牲にされてしまうわたしたち庶民は、もうそのような目にあうのはこりごりです、もうだまされないようにしたいものです。ですから、このような

暗い未来のことを考えあわせるならば、たとえ今の生活レベルが半分になろうとも、世界を戦争で不幸にし、人類にとって地球にとって取り返しのつかなくしてしまう戦争を絶対に回避せねばなりません。そして戦争にならないために、わたしたちはどういう行動をとったらいいのでしょうか。

<現在、沖縄の米軍基地の県民所得に占める割合はたったの5%にすぎない>

たとえば、沖縄の北谷町のヘリコプター基地が返還されて民間になると、雇用は100人足らずから数千人が働くようになり、固定資産税も380万円から一挙に1億8000万円に増えました。それは那覇市の新都心でも同様で、もっと大幅にふえて活性化しています。

1960年代、基地からの収入が県民所得に占める割合は52%だったのに、復帰後は15%になり、現在ではたった4.6% (平均5%)にすぎません。今の沖縄の産業はそのほとんどが美しい自然と海による観光によっています。ですから、基地依存から抜け出すほうが、雇用も県民所得も格段に増えるのです。

<これからは戦争をおこさない方策のために、お金を費やそう>

これからは戦争のためにする軍拡ではなく、軍縮を選び、その浮いたぶんの桁違いの軍事費ぶんをしっかりと平和にむけていくべきでしょう。これまでの桁違いの軍事費を国民の幸福のために振り向けて、戦争を起こさないために近隣諸国との友好と取引のために費やしてはいかがでしょうか。みなのお金を、一部の支配者や権力者の懐を肥やすのでなく、みなのためにどんどん使いましょう。

<みんなのお金はみんなのために地球のために自然環境のために使いましょう>

みんなのお金は、世界中のみなが幸せになれるように使いましょう、地球の再生のために使いましょう。すべて戦争を起こさない方向へと向ける事柄にお金を費やすのです。桁違いの兵器の値段を思うと、どれほどたくさんの方にまわせるでしょうか。つまり「あなたは、これから先の世界を、戦争か平和、どちらに向かうのを選びますか」ということです。

<アメリカ軍の支配者は、沖縄を起点にアジア・中近東を征服して、世界統一を企んでいる>

>

沖縄は策略で占領されました。アメリカの政権を手にして牛耳っている軍産複合体を背景にした支配者たちが謀略をねり、第二次世界大戦で沖縄をねらって戦争をしかけてついには占領しました。沖縄の[地の利]の良さは、アジア・中東支配の重要な拠点として必要だったのです。

<結局使い捨ての沖縄>

沖縄は、いまだにアメリカ軍の最前線としてずっと利用されており、しかしいざとなると使い捨てされてしまうのが目にみえています。アメリカ軍はグアムにハワイへと逃げていきます。しかしその時には沖縄だけでなく日本全体が浮沈空母となって沖縄もろとも沈んでしまうでしょう。

<国民主権・民主主義を實踐してゆこう>

今の日本は、戦後アメリカの占領下のままのふがない日本です。アメリカの言うなりの日本です。残念ながらこれまでの自民党政府、そして今の民主党政府では、日本の独立自存など夢のまた夢です。しかしわたしたちがこのまま黙っているなら、日本本土と沖縄は、ともにアメリカの盾となり潰されてしまうでしょう。

<日本のこれから>

未来の日本を、戦争放棄の日本、国民主権の民主主義の日本として標榜していくにはわたしたちはどうすればよいのでしょうか。一人一人が日本の明るい未来のために何ができるのか、どうすればよいのか、だまされないように、一人一人が自らしっかりと考えて行動に移してゆかねばと思うのです。

<沖縄のはたす役割>

沖縄は、独立自存の平和の島として、力や軍隊や強者の勝手な論理でないこれからの新しい価値観で生きてゆける島として、世界にその位置を占めるようになれると思います。

沖縄は独立するのが一番ではないでしょうか。そうすれば、沖縄を真ん中にして、周囲がにらみあう体勢になりますから、かえってどこか一国の支配になってはまずいという牽制が周囲の国々に働くだらうと思います。

沖縄は、今は日本を介してアメリカの支配になっているという偏りで周囲とのバランスが崩れています。しかし日本がアメリカからしっかりと距離をおいて、沖縄の独立を認めれば、基地の問題は、沖縄の人々にゆだねられるのです。そして、日本も日本自身で、アメリカの占領支配から抜け出すよう努力せねばならないと思います。

日本は、アメリカの占領支配をやめさせ、自立するためにも、他に頼ったり、他を支配しコントロールすることを止める事です。

日本にとっては、これまでを鑑みてもまず沖縄に対してそのようにすべきでしょう。そうすれば、本土も自分自身これからのをどのように生きてゆくのかが見えてくるのではないのでしょうか。